

2021年9月17日 第3362回例会

於： よこすか平安閣 6F

<点鐘・開会> 12:30 八巻 会長

<斉 唱> 「君が代」「奉仕の理想」

<唱 和> 「四つのテスト」



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

<新倉良是会員より会葬御礼>

先日は父の葬儀にご参列頂きまして誠に有難うございました。

生前父は皆様とお話する事が本当に好きでしたので先日の葬儀にも沢山の方にお越し頂いて父も喜んでいと思います。これからもよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

<会 長 報 告> *第2回理事役員会報告(8月27日 於:横須賀商工会議所)

- ・年間のプログラムについて緊急事態宣言延長のため休会としました。
- ・9月10日の外部講師の卓話を4月8日に変更しました。軍港巡りツアーもその時点で判断し、人数も直前に調整いたします。
- ・10月8日のローターアクトとの合同夜間例会も5月20日に延期いたします。5月6日のインター・ローターアクト合同例会は、変更ございません。
- ・10月15日は休会の予定でしたが、通常例会をよこすか平安閣で実施し、卓話は新会員卓話といたします。
- ・ZOOMの講習会なども来月以降検討したいと思っています。
- ・中期ビジョンについて取材がありましたので岡田前会長と植田理事より説明がありました
- ・明治安田生命の川出会員が山口に異動となり9月末で退会されます。皆さまに宜しくお伝えくださいとのことでした。
- ・米山奨学生朴さんには10月8日の例会に来て頂いて、卓話の依頼と奨学金を授与することを連絡しています。

*ガバナー事務所より

- ・My Rotary 登録状況アンケート調査について
マイロータリーのアンケート締め切りが本日になります。
- ・佐賀・長崎豪雨災害義援金協力依頼について
次回、降会場で集め、本会計から一部足して送金いたします。
- ・2022-23年度の青少年交換プログラム一時中止について
残念ですが、2022-23年度の青少年交換プログラムは、一時中止となりました。

<幹 事 報 告> *本日、13:30から理事役員会を開催します。

<出 席 報 告> *出席委員会 加藤 備 委員長より9月17日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠 席 数	メークアップ数	出 席 率
121名	108名	83名(58名)	26名	3名	78.90%

<ニコニコ報告>

- ・三 役 来生会員、大石会員新会員卓話よろしくお願ひします。楽しみです。
- ・上 林、加藤 備、澤 田、福 西、飯 塚、中村 備、勝 間、長谷川、兼 城、小山 備 各会員
来生会員、大石会員、本日の卓話楽しみにしています。
- ・来 生 会 員 卓話緊張しますが頑張ります。
- ・大 石 会 員 卓話がんばります。I'll do my best.
- ・三 役 久しぶりの例会です。初めてZOOM主体で行います。会員の皆様よろしくお願ひいたします。

- ・西村 崑、大野 健、上 林、波 島、徳 永、谷、佐久間 各会員
緊急事態宣言下、久しぶりの例会です。通常の例会とは行きませんが、気持ちを一つにしてハイブリッド例会を楽しみましょう。
- ・西村 崑、波 島、澤 田、福 西 各会員 10月24日(日)は世界ポリオデーです。ポリオ根絶まであと少し。世界の子供たちのため力を合わせ達成しましょう。
- ・八 巻、小山 陽 両会員 地区公共イメージ委員会による今年度地区青少年奉仕委員長の岡田直前会長のフェイスブック独占配信インタビューが在り、バッチリ横須賀RCの素晴らしさを宣伝しました。

<新会員卓話 1>

来 生 亮 会 員

こんにちは。ただいまご紹介にあずかりました、来生亮です。

本日は伝統ある横須賀ロータリークラブの会員になって初めての卓話ですので、私自身の自己紹介、私が所属している会社の紹介、トヨタ自動車での経験とトヨタ流「コスト削減」のお話をしていきたいと思えます。

まずは自己紹介をさせていただきます。1979年11月26日に横須賀市の聖ヨゼフ病院で生まれました。年齢は41歳で、残念ながら未婚で独身です。誕生から小学2年生までは父の仕事の関係で静岡県富士宮市で生活をしておりました。1987年、小学3年生になるタイミングで神奈川県鎌倉市へ引越し、大学院を修了するまで鎌倉で生活しておりました。小学校は鎌倉第1小学校を卒業しました。1922年、関東学院中学校に入学、1995年関東学院高等学校に進学し、1998年東京理科大学に入学、2002年に東京理科大学大学院へ入学し2004年に大学院を修了しました。大学及び大学院では機械工学を専攻していました。そして大学院修了後、2004年にトヨタ自動車へ入社し、約6年間愛知県豊田市で生活し、2010年に横綜興業へ入社、そこから横須賀での生活がスタートしました。横須賀とは縁はあるものの、実際に住んでいる時間としてはようやく10年を超えたような状況です。

続いて会社紹介をしていきます。私が所属している横綜興業とそのグループ会社の紹介、各社の沿革をお話しします。グループ会社は横綜興業のほかには阿部不動産と阿部商事があり、横綜興業及び阿部不動産は不動産賃貸業、阿部商事は保険代理店・宅建仲介業を主な事業としております。横綜グループの始まりは、私の母方の祖父 阿部正雄が昭和25年4月に大滝町のさいか屋隣の土地で食品卸売業を営む阿部商店を創設したところから始まります。創業後しばらくは食品卸売業に専念して事業を拡大していき、昭和39年にスーパーマーケット事業に進出しました。自社で卸売りと小売りを並行して行う事業形態は当時ではとても珍しかったようです。スーパーマーケットの店名はご存知の方も多いかもかもしれませんが、スーパーグレートという名前でした。その後、事業規模を順調に拡大していき、昭和40年に三春町へ本社を移転し横須賀総合卸売市場を開設、その後昭和41年に横綜興業を設立、昭和49年に阿部不動産を設立し、スーパーも最大12店舗を運営するまでになりました。しかしながら、昭和60年代になると、スーパーの大型店舗の建築が許可されるようになったため、祖父が構築したビジネスモデルが成り立たなくなり、さらにはバブル崩壊も重なり、食品事業は縮小し続けることとなります。最終的に、食品事業は平成26年に事業撤退し、現在の横綜興業・阿部不動産・阿部商事の3社体制となります。紆余曲折はありましたが、おかげさまで2020年に創業70年を迎えることができました。

次にトヨタ自動車での経験についてお話します。トヨタでは主に設計の仕事していたのですが、一番思い出に残っている車種の開発エピソードをご紹介したいと思います。

一番思い出に残っている車種はLFAというレクサス初のスーパースポーツカーです。こちらがレクサスLFAという車です。LFAの性能を簡単にご紹介します。エンジンはヤマハ発動機製で4.8L V10の自然吸気エンジンで560馬力を出力します。車体はF1マシンの車体にも用いられるカーボンファイバー製で、車重は1480kgと軽量化されています。止まった状態からフルアクセルで時速100km到達までに要する時間は3.7秒となっています。最高速度は時速325kmで、日本ではサーキットに行かない限りその性能を体感できないようなモンスターマシンです。トヨタとしてはトヨタ2000GT以来となる500台限定生産のスポーツカーで、販売価格は3750万円と性能だけでなく価格もモンスターです。私が開発に携わった部品は燃料タンクを中心とした燃料系システムです。右下の写真がLFAの燃料タンクで、材質は樹脂

となっています。一般的な車両の樹脂燃料タンクと比較すると、形状が特徴的であることがわかると思います。一般車は左側の写真のように平たいモナカのような形をしていることが多いです。これは、人が乗るスペース「客室容量」を大きくするために、どの自動車メーカーも同じような傾向にあります。一方、LFAの燃料タンクは馬の鞍を大きくしたような形をしており、「超鞍型」と呼ばれています。このような形になる大きな理由としては、性能上、変速機と排気管のレイアウトが優先され、それをまたぐように燃料タンクを配置する必要があったためです。図面上で、赤の斜線部分が燃料タンク、青色部分が排気管、黄色部分が変速機となっています。こちらが燃料タンクを含めた、燃料系システムの部品の一覧となります。恐らく皆さんが聞いたことのない部品がほとんどだと思いますので、詳細は割愛しますが、設計には各部品の配置やそれをつなぐチューブの経路確立が含まれます。思い出に残っている開発エピソードは、燃料タンクが原因でテストコースを継続して走ることができないという問題に直面しそれを解決したことです。性能や耐久性を調べるために、ドイツのニュルブルクリンクという有名なサーキットでテストをしていたのですが、テストの合間に給油をしようとするとうまく給油できず燃料が逆流してしまい給油が不可能となりテストを継続することができないという問題が発生しました。とにかく早くこの問題を解決しないと、車全体の性能をチェックできないということで、設計チームだけでなく、実験チームなども参加し、原因として考えられる要素を洗い出しました。原因である可能性が最も高いと考えられたのが赤枠内のバルブ類の配置でしたが、タンクが特殊な形状をしている為、どのような配置が最適なのか参考になるデータがありませんでした。そこで、私は当時トヨタが導入した最新のCADソフトに最適設計機能があることに着目し、CADソフトでシミュレーションを実施するために必要なパラメータが何かを洗い出し、バルブの配置の最適解を導き出すことに成功しました。これを基に改良版の燃料タンクを搭載した結果、いつでも給油することが可能となり、テスト走行を継続して行うことができるようになりました。参考になるデータがない中で、コンピューターにシミュレーションさせることで、最適な設計を実現するという、新しい時代の設計手法を実現できた時の喜びはひとしおでした。

結びにトヨタ自動車で学んだトヨタ流「コスト削減」の考え方と、実践例をご紹介します。トヨタのお家芸である「コスト削減」ですが、実はかなり理論構築された手法であることをご存知でしょうか。「コスト削減」では「ムダ」の削減というところばかりが注目を集めがちですが、これからお話しする4ステップを全て達成して初めて「コスト削減」と評価されます。第1ステップは「ムダ」を見つけることですが、「ムダ」をどのように見つけるかは、意外と知られていないのだなと、退職してから感じる人が多いです。トヨタでは工場に「ムリ・ムラ・ムダ」という言葉がいたるところに掲示されており、「ムダ」とは作業に「ムリ」があり品質や精度に「ムラ」がでることだと教わります。トヨタの中ではいきなり「ムダ」を探しているわけではなく、品質や精度に「ムラ」がないか、その「ムラ」を発生させている「ムリ」な作業がないかを常に探しています。第2ステップは「ムダ」の評価です。評価の基本は「時間」です。「コスト削減」というと「金額」で評価と思われる方も多いと思いますが、トヨタでは「時間」が基本となります。仕事をする際に発生する体の動きや考えたり判断したりすることに必要な「時間」を計測し、「ムダ」を無くすことで削減できる「時間」を算出、1秒当たりの人件費をかけて「金額」に換算し評価します。この時、気を付けなければならないことは、「時間」の削減が特定の人のみ達成していないかという点です。トヨタでは特定の人だけが達成できる時間削減は「ムダ」の削減とは評価されません。どのような人でも同様に時間が削減できて初めて「ムダ」が削減できたと言われます。どんな人にも当てはめられるということを、トヨタ用語で「標準化」と言い、第3ステップとなります。「標準化」を進めるということは、「行動や考え方の慣れ」を排除していき、「熟練度」「性別」「年齢」といった仕事を進める上で障壁になりやすい要素を無くすことになるので、結果的に「多様性」を実現することにもつながります。そして第4ステップは「見える化」です。トヨタでは「見える化」は「標準化」を進める代表的な手法として認識されています。「見える化」する基本的な情報は「時間」「金額」「情報・工程の流れ」となります。意外と抜けやすいのが、「情報の流れ」だと思います。事務作業などで仕事の「標準化」がうまく進まない原因として、情報の流れを表現できていないことが考えられます。トヨタではあらゆる仕事でこの4ステップが常に行われ、継続して「ムダ」を削減することで、結果的に莫大な金額の「コスト削減」を実現しています。トヨタ流コスト削減を実践した例がこちらになります。これは、横綜グループの創業事業である食品卸小売り事業を営んでいたヨコソウメルカという会社でのコスト削減を計画した際の資料になります。残念ながら、私が入社した当時は、長年巨額の赤字をだし続け、事業を継続できるのかという状態でした。その為、先ず

全社で業務を効率化し、どの程度コスト削減できるかを算出することにしました。商品の仕入・販売・在庫管理が現場でどのように行われているかを調べ、その情報を基に本社でどのように経理処理されているかをまとめたものが、ご覧いただいている図です。情報の見える化をした結果、ヨコソウメルカでは情報のやり取りばかりが多く、利益を生み出すための適正な値入れに必要な情報が誰一人リアルタイムに把握できないやり方で仕事を進めている事がわかりました。こちらは先程の複雑な情報のやり取りをしている際に会社全体で情報処理に割いている業務量がどの程度なのか見える化した表になります。年間で19660時間という莫大な時間を割いているということがお分かりになると思います。こちらは複雑な情報のやり取りの無駄をなくし、適正な値入れに必要な情報をリアルタイムに把握できるように再構築した業務推進モデルです。従前のやり方と大きく異なる点は、仕入れと販売戦略の担当者を集約した部門を設定したことと、経理部門にレジ売価設定をする権限を付与したことです。先程の業務推進モデルを基に、社内の情報システムを具現化したものがこちらになります。詳細は省きますが、「標準化」を行う為に、レジなどの機械やソフトはもともと使用しているものをベースに構築し、煩雑であったり、高度な処理が必要なものはコンピューターに処理させるようにしています。改善後の年間業務負荷の予測がこちらになります。年間で6172時間を削減することができるという試算となり、当時の最低賃金が900円程度だったと記憶しておりますので、金額換算すると年間約550万円のコスト削減が可能であるという結論に至りました。実際には、ヨコソウメルカの赤字額はこのコスト削減額で補填できる大きさでは無かった為、このコスト削減は実現せずで終わりましたが、コスト削減額を積算した結果、黒字化は不可能であるということが数字で示され、最終的に事業撤退という大きな経営判断をすることができました。良い適用例では無いとは思いますが、私が実際に経験したトヨタ流「コスト削減」の効果が皆さまのご参考になれば幸いです。以上ご清聴ありがとうございました。

<新会員卓話 2>

大石 朗 会員

皆さん、こんにちは。

昨年8月7日に入会させていただきました大石朗でございます。吉田清会員のご紹介によりまして、歴史と伝統のあるクラブに入会させていただき、加えてZoom例会とは申しましても諸先輩を前に卓話の機会をいただきましたこと、大変光栄に思っております。本日は、「大石朗のトリセツ」と題し、自己紹介を中心としてお話しさせていただきたいと存じますが、最初にお許しいただきたいことがございます。本日用わせていただく私の卓話を「四つのテスト」に照らしてみたところ、合致していないところが見受けられました。「真実かどうか」については若干脚色がありますが、許容範囲と思っております。「みんなに公平か」「好意と友情を深めるか」についてはクリアできると思います。しかしながら、「みんなのためになるかどうか」については、ほとんどためにはならないと思いますので、これを踏まえてお聴きいただきたいと存じます。まず、簡単にプロフィールから申し上げます。大化の改新から1310年後の昭和30年、1955年、2月21日に横須賀は緑が丘の聖ヨゼフ病院で生まれました。66才、魚座、九紫火星、血液型はA型です。学校は、横須賀学院から明治大学へ進学し、昭和53年3月に明治大学を大変優秀な成績で卒業した友人のお蔭で卒業いたしました。同年4月、横須賀信用金庫、現在の湘南信用金庫に就職しました。学生時代の4年間、「中央酒場」でアルバイトをしていた関係から、毎日のように飲みに来る横須賀信用金庫の職員に勧められて就職いたしました。38年間勤務いたしました。3分の1が営業店、3分の2が本部勤めでした。定年まで勤め、その後グループ会社である保険代理店「湘南大滝商会」へ移り、現在に至っております。信用金庫時代には、横須賀青年会議所に卒業まで10年間お世話になりました。川崎支店に勤務していた時には、川崎ライオンズクラブに、茅ヶ崎駅前支店に勤務していた時には、茅ヶ崎中央ロータリークラブに入会していました。横須賀ロータリークラブへは騙されて入会したという話をよく耳にしますが、私の場合は脅されて入会しました。と申しますのは、とある天ぷら屋で、JC活動を共にした吉田会員、岡田会員とお会いした事です。実はその時、配偶者以外の女性と食事をしていたのですが、お二人から「大石君、ロータリーに入らない？」との誘いを受けたのです。ニコニコした表情とは裏腹に目は笑っていませんでした。つまり、口止め料として入会を迫られたのです。これにより、JC、ライオンズ、ロータリーそして再びロータリーと数奇な運命を辿ることになりました。と言うことで、吉田会員は紹介者というより脅迫者といったほうが正しいと思います。現在は、横須賀の北の玄関口「追浜」に、愚妻と17歳になる老犬2頭と

暮らしております。子どもは、分かっているだけで2人おります。それぞれ横浜と東京に所帯を構え、孫が3人おります。日課は、1日10km以上、歩数にして1万6千歩以上歩くことを目標にしております。健康には人一倍気を遣っております、「健康のためなら死んでもいい」と思っています。お陰で体は丈夫で、中学入学から今まで病欠が一日もありません。毎日午前3時に起床し、ウォーキングをして、午前5時30分までには事務所へ入ります。毎日1時間かけて事務所はもとよりエレベーターやエントランスなどビル共用部を掃除しています。これも一日も欠いたことはありません。毎日、掃除機を持つ姿に、社員からは“掃除機爺さん”と揶揄されています。先ほども申し上げましたとおり血液型はA型です。典型的なA型で、自分で言うのも何ですが、几帳面なこだわり主義者です。その几帳面なこだわりは病的、変質的すらあります。この性格に弊社の社員はさぞかし閉口していると思います。どのくらいかと申しますと、例えば欄干を一本ずつ触って歩いている時に、向かい側から人が来て、欄干側を譲り数本の欄干に触れることが出来なかったときは、触れなかった欄干まで戻って触り直します。テレビの音量やエアコンの温度設定などがデジタル表示される場合は、必ず素数にセットします。このこだわりはほんの一例です。スポーツは苦手で、運動神経は鈍いと言うより、無いと言った方がよいかも知れません。では、文化系かと言いますと、音楽も駄目、文学的な素養もありません。漢字や人名を読むのも苦手で、歐陽菲菲（オーヤン・フィーフィー）を「ヨーロッパ風ニラ炒め」と読んで嘲笑をかったことがあります。また、大変な人見知りかつ引っ込み思案です。初対面の方や慣れていない方とお話することは大の苦手です。進んで人前に出ることは一切ありません。八巻会長から卓話の予定を聞いたときは、恐怖と戦慄が走り、血の気が引いて失神しそうでした。主体性に欠けますが、協調性には富んでいます。リーダーには全く向かない性格ですが、部下としては使いやすい人間です。定款第3条に定めるクラブレベルを超えたリーダーには多分なれないと思います。用意周到ですが、準備の度が過ぎるので、ブルペンで肩を壊すタイプです。趣味は旅行です。一人での食べ歩きが好きで、よく青森や岩手に出かけます。食べ過ぎてしまうので、これを「みちのく太り旅」と呼んでいます。お酒は大好きで、コロナ禍にあって毎日家呑みを楽しんでいます。ワインなら1本、ホッピーなら4杯、日本酒なら5合が適量です。毎日呑んでいてもγ-GTP 85は立派なものだと思っています。昔から「おまえは頭は弱い、肝臓は強い」と言われていました。また、酔っても顔に出ませんが、態度に出るので始末が悪いと言われます。声高になり、多弁になると酔ってきた証拠ですので、注意が必要です。その時は女性や子どもの手の届かない所に置いてください。また、このような状態になったときは、仲間から外してください。「まぜるな危険」と覚えてください。そして、酔ったときの話は、8割が作り話で、2割がウソですので、そう思って聴いてください。几帳面な性格ですので、細かい仕事を与えますと、黙々と取り組みます。自分から進んで仕事を求めませんが、仕事を与えられると喜びます。人見知りの割には寂しがり屋です。声を掛けると大変喜び、その人に好感を抱き、言うことをよく聞くようになります。AIBOのようなものです。なお時折、忙しさ等の要因で、素直さレベル・丁寧さレベルが低下し、自分の思ったことや感じたことを把握する能力が著しく低下する恐れがあります。その場合は、おだてると機能が復活します。なお、今申し上げました安全上のご注意などにつきましては、本人の置かれた環境や情緒の変化などに応じて変更する場合があります。また、1年の保証期間もすでに終了していますので、返品はききません。今後は取り扱いにご注意いただき、末永く大切にお使いいただきますようお願いいたします。

結びとなりますが、切っ掛けはともかく、本当に良いクラブに入会することができました。吉田会員ならびに岡田会員に脅迫を受けたことに感謝しております。この恩に報いるためにも、皆さんから一層のご指導をいただき、一日も早く、ロータリアンとしての自負と責任のもとに言動できるよう努めてまいりたいと存じますので、今後とも、よろしく願いいたします。ご静聴ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:20 八巻会長

週報担当 長谷川 誠 剛

10月例会プログラム変更のお知らせ

10月8日	3364回	卓話：朴 特彦 様(米山奨学生) 新会員卓話：立石 文彦会員 ↓ 卓話：朴 特彦 様 (米山奨学生) 新会員卓話：江口 浩道会員 会場：横須賀商工会議所1F「多目的ホール」
10月15日	3365回	新会員卓話：長谷川 誠剛会員 ・ Wosti Loknath 会員 ↓ 新会員卓話：長谷川 誠剛会員 ・ 立石 文彦 会員 会場：よこすか平安閣